

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 奈良市立六条幼稚園 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒630-8043
奈良市六条二丁目14-2

E-mail kg-rokujo@city.nara.lg.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 28 名 女子 28 名 合計 56 名
幼児・児童・生徒の年齢 4 歳～ 5 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 12 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

【奈良を知ろう。学ぼう。誇りに思い未来へ繋ごう】をテーマにかかげ、感動したこと、興味を持ったこと、疑問に思ったことを主体的に知ろうとしたり、学んだりしながら、それらを伝えていこうとする力の育成を目標とした。

具体的には、世界遺産学習・地域遺産学習・ESD 環境教育として、①菜の花プロジェクト活動、②JR 奈良駅駅舎見学を行った。

① 菜の花プロジェクト活動

NPO・地域・保護者の方も加わり、子どもと一緒に 1 年間の取組である。園内で菜の花を育て、5 月に刈取り、天日干しをした後、6 月に種落としと油搾りをし 7 月に薬師寺に園外保育に行き、油を奉納し灯明にさせていただく。

8 月は元興寺、11 月は唐招提寺に行く。

この取組を通して、世界遺産を守り伝えられてきた人々の営みや志を大切にすることを学び、自分たちが未来に繋げる当事者になることを目指している。

また、循環型社会を学ぶ環境教育として指導計画に位置づけ NPO・地域・

保護者の方々と共に実施した。

子どもたちは、実体験をし感動を味わいながら学んだことを誇らしげに思ったことだろう。

② JR奈良駅駅舎見学

実物を見て感動したこと、建物の大きさや【ひきや】した長さなど知ったことを自分の体を使って計測・対比したり、友達と一緒にどんな風に伝えていこうかと話し合ったりしながら、グループで紙芝居をつくり発表した。

紙芝居は、保育参観時に保護者に見せ、小学校交流会に一年生に見せ発表した。保護者や一年生の児童たちは「すごい」「よく見てるね。調べたね」と感心しておられた。



① の写真 菜の花刈取り



① の写真 薬師寺へ油の奉納



② の写真 JR奈良駅駅舎見学



② の写真 柱を体で計測

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(保育活動)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

○ 「世界の奈良にふさわしい駅舎を」 JR奈良駅旧舎 現奈良市総合観光案内所 www.worldheritage.co.jp/asyl/news/details.php?id
○ 奈良駅 ja.m.wikipedia.org/wiki 奈良駅
○ JR奈良駅舎の保存に関する要望書 日本建築学会 www.aij.or.jp/scripts/request/clocument/1010125.htm

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

【奈良らしい教育の推進】として

○世界遺産学習の推進

「菜の花プロジェクト」を保護者、地域の方と継続し、世界遺産とのかかわりから「びっくりした」「すごい」という原体験を積み重ねる。

○奈良で学ぶ・奈良で誇る・奈良を語る

六条らしさを活かした推進として、薬師寺・唐招提寺など地域に出かけたり、東大寺・二月堂を訪れたり、赤膚焼きなど本物に触れる機会を多くもつ。現地研修から世界遺産への興味・関心を深め、保育に取り入れ感性を豊かにする。

○ESD・環境教育を推進

将来にわたって接続可能な社会に必要な教育の学びを保障する。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

○教員の資質や専門性の向上

各種研修会や講演会などへの積極的参加、教員同士のカンファレンス、日常の保育の振り返り、綿密な計画と実践と評価をする。

○保護者・地域・NPOの方と協働作業

ユネスコスクールの取り組みを実施するために責任者を決め、綿密な打ち合せと計画、予算を組み立てる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

保護者・地域の方から園評価アンケートを実施した結果、菜の花プロジェクトについて、1年間を通しての取り組みは継続という意味でも他では味わえない感動体験なので、今後もぜひ続けて言って欲しい。という意見があった。課題としては、予算の必要性を感じている。また、緻密な計画と連携が必要である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ほとんどしていない。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)
※チェック事項 2-3 に対応

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

ほとんどしていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度)
※チェック事項 2-5 に対応

世界遺産学習、ESD教育など幼児の時から学び、知ることによって心の教育(人や物・事に触れ思いやりをもつ。自分の住んでいる所を大切にする。自尊心が高まる)ができる。教育も教材研究など資質向上に繋がる。

- (3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

現在、菜の花プロジェクトは、薬師寺や唐招提寺などに菜の花油奉納は、世界遺産学習と環境教育として、とても大切な事業である。地域・保護者の方に根付いてきている。現状維持のまま続けていきたい。参加者の人数も増え、六条幼稚園らしい、六条幼稚園しか味わえない活動ともいえる。園児数の減少や7月8日(なのはなの日)としての暑い時期に奉納をする。ということは体調にも影響するので見直しをしていきたい。